

令和7年度 交通信号監理士 実務試験解答

問1 40点(10点×4)

解答例

- ① 歩行者との接触
- ② 小型バックホーの取扱注意
- ③ 既設の他企業埋設物の破損
- ④ 熱中症に注意

問2 60点(15点×4)

解答例

問1－①

作業員が作業帯から出る時は、歩行者に接触しないように周囲を確認する。
交通誘導員が歩行者の通行の有無を作業員に知らせるように声掛けする。
作業帯からスコップ等の作業工具類がはみ出していないか監視する。

など、①の項目に関することが記載されておれば15点

問1－②

小型バックホーの旋回範囲に作業員を入れない。
歩行者の通行があるときは、機械の操作を中断させる。
小型バックホーの移動時は、交通誘導員に誘導してもらう。

など、②の項目に関することが記載されておれば15点

問1－③

掘削時に支障埋設管等が出土し、損傷させる恐れがあるため、埋設物の事前調査を行う。
必要により、既設埋設物管理会社の立会いを依頼する。
掘削時に、重機操作者以外に掘削場所を注視する作業員を配置する。
埋設シートが出てきたときは、手掘りで埋設管を確認する。

など、③の項目に関することが記載されておれば15点

問1－④

熱中症対策用品を準備しておく。
KYミーティングで作業員の体調確認を行い、またコマメな水分塩分補給を行うように指示する。
WBGT指数計で現場のWBGT値を把握する。

など、④の項目に関することが記載されておれば15点